

特定非営利活動法人 会員誌

ふれあいサポート館アトリエ



⇒E-mail fureainpo@gmail.com
⇒ホームページ <http://www.fureai-support.jp/>

新春

- 法 人 事 務 所・ア ト リ エ
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8
TEL 0244 (36) 5420
FAX 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(北 町)
TEL 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(南飯淵)
TEL 0244 (36) 3582
- 中央児童センター(ポニークラブ)
TEL 0244 (35) 2008
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわりクラブ)
TEL 0244 (37) 8870
- 日立木小放課後児童クラブ(めだかクラブ)
TEL 0244 (35) 3400
- 磯部小放課後児童クラブ(げんきクラブ)
TEL 0244 (32) 1787
- 八幡小放課後児童クラブ(なのはなクラブ)
TEL 0244 (26) 9011
- 相馬こどものみんなの家
TEL 0244 (35) 4700



法人事務所・アトリエ玄関アプローチ

— 新春合同メッセージ —



2020年 ^{れいわ}・令和2年 ^{かのえね}・庚子年
今年もどうぞよろしくお祈りします。



12月の特別授業で宮城野高校生と記念写真

あけましておめでとう！！



イラスト：かいがぞうけいきょうじつの皆さん。書は友美子先生

2020年 新年に寄せて・・・

東日本復興を掲げたオリンピックの年 2020年。
スマホやAIの進歩や普及によって、さらに激しく社会は大きく変革している昨今。この年を、後に振り返って、ああ、あれはあの時から始まったんだというような事が、いくつも起こる節目の年となるはずだ。

◇ ◇ ◇
かいがぞうけいきょうじつをベースに、地域の教育や福祉のさまざまな分野で実践してきた私たちの活動もさらに飛躍し、新たな展開を模索しているところです。私達の願いは、地域での人と人の交流の場面を作り出し、人々の生きる力を高め、いくつになっても、楽しく成長できるようにすることです。特に、子どもと高齢者、教室に在籍する3歳児から高校生までの学年の枠を超えた触れ合い、異世代交流は、学校や社会の構造を越えた、学びと喜びの世界を創出しております。

◇ ◇ ◇
テイサービスのおいちゃん・おばあちゃん子ども達の交流は、長い人生を歩んできた高齢者が態度で示す威厳や優しさ、子ども達の愛らしさや吸収力がマッチして、活力あふれる時間となっています。子ども達も年齢を越えた環境の下で、自然に、お兄さんお姉さんの役割が生まれ、子ども達の新たな能力を引き出し、人間関係を学ぶ良い機会を提供しています。

◇ ◇ ◇
少子高齢社会の現代、アトリエでの役割がますます大きく、憩いと安らぎの空間を創造する責務を感じます。これからも、みんなが夢と希望に満ちた未来を制作できるアトリエでありたいと願っています。

◇ ◇ ◇
私たちは、地域に貢献するNPO法人として、教育福祉、芸術活動と幅広く事業を展開してきました。これもひとえに、優秀なスタッフ諸君や官公庁を含む地域の皆様方の温かいご支援あつてのことと深い感謝の意をお伝えするところです。私達の地域一体の活動が地域活性化と皆様方の生活向上に僅かでもお役に立てますよう・・・2020年全力を尽くしてまいります。

◇ ◇ ◇
半世紀以上長きにわたり、実に多くの皆様から多大なご支援をいただき、本当に感謝にたえません。この感謝の気持ちをありがとうございますの言葉と笑顔に代えて、今年も皆さま方のお力添えをいただきながら、スタッフ一同イキイキ キラキラ みんな いい笑顔で楽しみながらこれからも歩んでいきたいと思っております。

◇ ◇ ◇
今年も、皆様方のご支援、叱咤激励をよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人(NPO法人)
ふれあいサポート館アトリエ
理事長 倉本 信之



ふれあいサポート館アトリエ 紹介・メッセージ



ー げんきでいこうみんなともだちー

かがぞうけいきょうしつ・陶芸教室

かがぞうけいきょうしつは昭和41年に創立して今年度54周年。
NPO法人ふれあいサポート館アトリエとして認証され16年。

アトリエの100年から200年物の木のぬくもりのある魅力的な空間・雰囲気の中で3歳児から高校生までと一緒にアートを通して学び、絵を描くだけでなく遊びながら成長し合う姿が見られます。子ども達に混ざって熱心に研修している小学校の先生も、子ども達と良い関係性を作り、磨き合っている様子は、ほほ笑ましい光景です。

発達段階に応じたカリキュラムに加え、特別授業では、南相馬市のテクノアカデミー浜校の建築科・仙台市の宮城野高校・東北生活文化大学高等学校の美術科の皆様にご指導いただき、更にアートの楽しさを学びました。

相馬絵画研究所30周年を記念し、平成8年に友遊寮を開寮して24年。昨年の大晦日の窯だき納めで256回の窯だきをしました。

土の塊から器などへ・・・いきものように姿を変える土。ねる、たたく・・・などのシンプルな作業ですが癒される時間です。多くの皆さんに陶芸の楽しさをお伝えできました。



1学期は葉っぱ型のお皿・2学期はマイカップを作りました。3学期は、テラコッタ粘土でお守りの鈴を作ります。

展示会に展示しますので楽しみに…

今年の干支は 庚子年

日本習字・真美習字教室の
友美子先生の指導で
大筆を使って、元気よくそれぞれ個性
あふれるステキなカレンダーに
仕上がりました。

幼稚園のお友達は、今年の干支「子」
小学生以上のお友達は、笑って楽しく
一年過ごせるように「笑」を書き
ネズミのスタンプを押しました。
楽しく笑って、いい事ありますように・・・
一年間お楽しみください。



デイサービス友遊(南飯淵)・デイサービス友遊Ⅱ(北町) 訪問介護事業所友遊・介護タクシー事業所友遊 居宅支援(ケアマネジャー)事業所

平成24年7月から南飯淵にデイサービス友遊を開所。25年10月には北町にデイサービス友遊Ⅱを開所いたしました。27年4月からは訪問介護事業所友遊に加え、29年は介護タクシー友遊も始め、デイサービス利用のおじいちゃん・おばあちゃん、そして、家族の方の想いや願いを大切に、より安心して生活できるリンクされた福祉の場を提供させていただいております。

デイサービスでは60歳代から90歳代の皆様にご利用いただいておりますが、孫の家にきた・娘の家にきたような家庭的な気持ちでお過ごしいただければと、スタッフ一同心がけております。みんなで毎日、南飯淵の畑・長寿の森園で採取した自家製目薬の木茶の朝茶に始まり、午後のティータイムには、できるだけ手作りで懐かしいお味のもの、朝採り野菜や果物も豊富で、おやつ時間の楽しみもいっぱいです。孫のような娘のようなスタッフと一緒に、おじいちゃん、おばあちゃんも **イキイキ キラキラ みんないい笑顔** です。

北町の金曜日は、絵画教室の小さな子ども達との交流の場を設け、一緒に絵を描いたりお話をしたり・・・子供たちの存在は、おじいちゃん、おばあちゃんの視覚に入るだけで、すごいパワーを発揮し、自然と笑みがこぼれます。そして、やんちゃな子ども達も優しくなっていくのです。子どもとお年寄りが同じ空間にいるだけで介護予防になり、子育て支援ができるのですから驚きです。

中央児童センター・ポニー・ことりクラブ・おやこ教室 飯豊小・ひまわりクラブ/日立木小・めだかクラブ 磯部小・げんきクラブ/八幡小・なのはなクラブ 相馬こどものみんなの家/もりっこサポート

平成18年より、中央児童センターの管理運営を相馬市から委託され活動の輪が広がりました。子ども達の豊かな心の育ちのために相馬絵画研究所で長年培ってきた活動に加え、更なる活動の場を提供して13年になります。

平成23年から飯豊小放課後児童クラブ・ひまわりクラブ、平成26年から日立木小放課後児童クラブ・めだかクラブ、平成27年から相馬こどものみんなの家、29年度から磯部小放課後児童クラブ・げんきクラブ、30年度から八幡小放課後児童クラブ・なのはなクラブの管理も加わりました。各クラブとの交流・合同での活動を通して、他地域の人との出会いの中で、気配りや思いやりの心が育まれ、それぞれが成長していき、たのしい姿が見られます。

一人一人にふさわしい援助をするため、スタッフも研修・ミーティングを重ねながら子ども達に向き合い、健全育成・子育て支援に努め、共々成長し合っている姿勢が嬉しくなります。

学童保育の様子について

日立木小放課後児童クラブ・めだかクラブ担当 鈴木たみ子

「ただいまー」 毎日先を争うように帰って来る子供たち。

手洗い、うがいをする前にランドセルを背負ったまま、先生方に今日の出来事を、先を争い話します。話を聞いて貰いたい気持ちの他に、話すことにより今日あった出来事を自分なりに反芻し受け止めるための行動の様に感じます。

老若男女、ましてや子供たちにとって複数の居場所を持つことは、心のバランスを保つためにもとても大切なこと。同じ場所では、出来事を振り返ったり反省したりが難しい時もありますが、同学年のクラスや、役割の固定しがちな家庭とは違った「学童」という居場所が、いつもと違う役割を担う経験となりその違った役割分担が子どもたちの心を太らせ、折れない、柔らかな心を育む一助になっているように感じます。それが学童保育の役割の一つかもしれません。そんな一面が垣間見えたのが夏休みのデイサービスの利用者の方々と、学童5クラブ合同イベントです。おじいさんやおばあさんへの子どもたちの接し方は、今までに見たこともない様な、丁寧さと優しさで満ちていました。それに応えるように、高齢者の方も年上の者として凛として応えている姿も見られ 子どもたちのパブリカダンスにも目を細め、温かい拍手を送っていただきました。子供たちも達成感にあふれ、この交流がとても優しい時間になり、異年齢で過ごす空間の大切さを、改めて感じる事ができる時間となりました。

久しぶりのアトリエで

友遊スタッフ 渡邊澄江(元保護者)

昨年9月より友遊のスタッフとしてお世話になっております。

子供たちが通った絵画教室の懐かしいにおいや雰囲気そのままの落ち着いた空間。窓から入る柔らかな陽の光。その中で なじみの顔を見て笑顔を見せるデイサービスの利用者さんたち。また 週に一度の絵画教室での、子供たちの爆発的な命のエネルギーを感じると、何だかドキドキしてしまいます。

長い間、看護の現場に居たのに介護現場との違いに、自分のスキルの無さに意気消沈してしまうこともあるのですが実はそんなことも言っていられない。隠された危険性なども日々含まれ、緊張する場面もあります。

ところで 昔、小さい頃、年上の子供たちやお年寄りと一緒に自然に日々を過ごしていた時期、時間。中には 身体の不自由な人や知恵遅れの人もいました。今は、共生という福祉の世界があり、私には明るく光る希望に思えて仕方ないのです。引きこもりや精神障害、福祉の世界は深く果てしないように思われますが、誰もが幸せを感じられるヒントはきっとあります。

山に木を植える。心の中に種をまく事はどこか似ている。

心が心を育てると、私は思うので

今は全てが勉強であり、そう思えるのも

自然のことと思っています。

暖かなスタッフと共に前に前に進みたい・・・

どうぞ、皆さま、よろしくお願いいたします。

